

町長日誌 No.208



町長日誌の第208号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月12日(金) PM 1:30

年が明けて以降、結構な降雪量と厳しい寒さが続いていましたが今日は道路の雪も解けるほど温かく、日差しは確実に春に向かっていきます。高校・大学受験の皆さんはご家族を含め早く「桜咲く」の便りが届いてほしいことと思います。コロナ禍で制約も多いでしょうが健闘を祈ります。今、役場では3月2日から始まる議会定例会に向けた準備に追われています。令和3年度の一般会計予算案は47億7,350万円となり昨年度に比べ5億円ほど増える計画です。



1月29日(金)

北海道新聞に疫病を退散させる「妖怪アマビエが興部漁港に出現!!」の記事が記載されていたので私も実物を見てきました。防波堤の先端に3体の氷像のようなものがあり、真ん中が正にアマビエの姿に見えるのです。寒さが厳しく波が荒かったことから防波堤の灯台に氷が付着し重なり波しぶきが造り上げたものですが、このアマビエは最近疫病除けとして注目を浴びていますが、江戸時代後期に今の熊本県あたりで海から現れ疫病の流行と同時に6年間は豊作が続くと予言した等の記録があり、時代と共に疫病除けのお札などに用いられたと伝えられています。このアマビエの力で興部町にコロナが輸出しないことを願いましょう!



2月9日(火)

午後2時から札幌グランドホテルにおいて、興部町・大阪大学・エア・ウォーター北海道・岩田地崎建設の四者による記者発表を行いました。テレビや新聞等でご覧になられた方も多いと思いますが、これまで大阪大学の久保教授が開発した常温でメタンガスからメタノールなどを生成する技術(世界で初めて)が家畜糞尿から発生するメタンガスで精製できるか否かの研究を農業科学研究センターで分析実験を行ってきました。結果は良好でしたが、あくまでもフラスコ内での精製ですから、これを実用化が可能か否かの実証実験を進めたいとして、協力して頂ける民間企業、出来れば道内でと探していたところ、エア・ウォーター社が1㎡規模のメタノールを精製する機械の開発を、岩田地崎建設が北興プラントに研究棟の増設を受け持ってもらえることになり、大阪大学と四者での連携協定契約を交わし記者発表となりました。この実証実験は2年間で行い、精製能力やコストなどさらに事業化に向けた取り組みへと進める計画です。

コロナのワクチン接種にはもう少し時間がかかります。3月から4月にかけて卒業、入学、引っ越しなど人の移動が生じ、コロナ感染拡大の可能性もあります。ワクチンには副反応もあるようですが、コロナに罹れば副反応どころでない可能性もありますので、出来るだけ多くの皆さんの接種をお願いします。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

